

# 生きるを支える計画(新得町自殺対策計画) 概要版

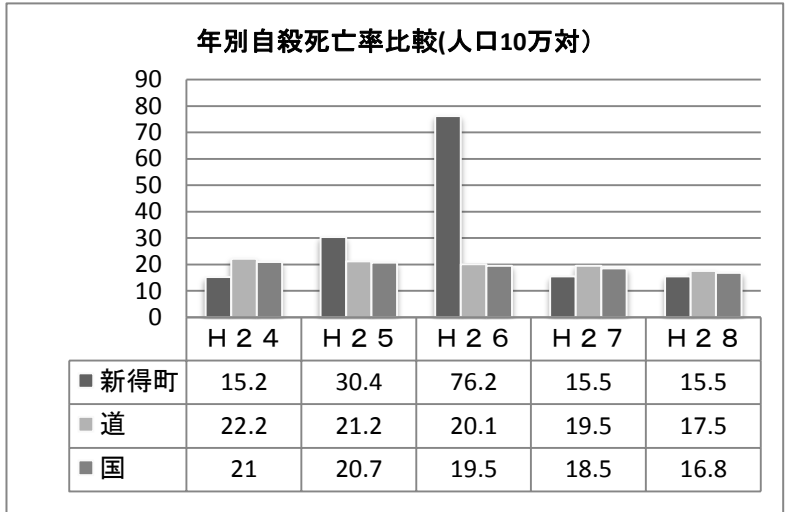
北海道の自殺者数は近年減少傾向にありますが、依然として年間900人余りの方が自らの命を絶っています。「誰も自殺に追い込まれることのない地域」の実現のため、自殺を個人の問題から社会の問題としてとらえ、誰もが等しく支援を受ける事ができるよう、自殺対策基本法に基づき平成31年3月に新得町自殺対策計画を策定しました。

## 新得町の現状

### ■本町の自殺死亡率と国や北海道との比較

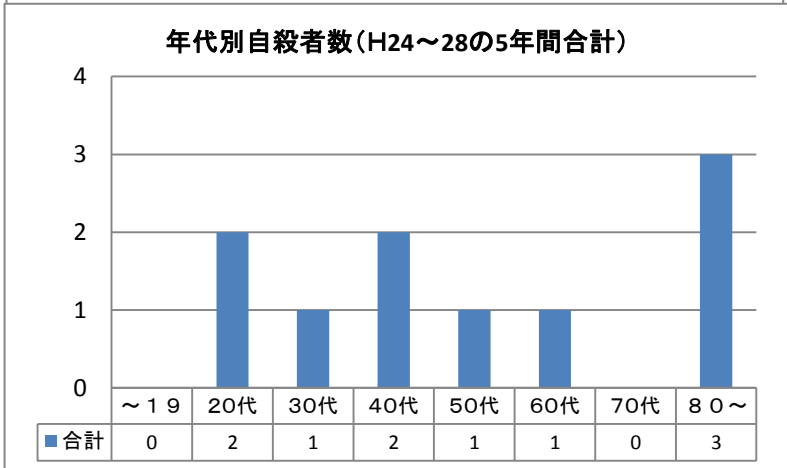
- 平成26年は5人の方が自殺に至り、高くなっています。
- 近年は国や道と比較し、やや低い傾向にあります。  
(自殺者数 平成27年1人・平成28年1人)
- ここ5年間は、毎年自殺される方がいるのが現状です。

※自殺死亡率とは、人口10万人当たりの自殺者数のことをいいます。



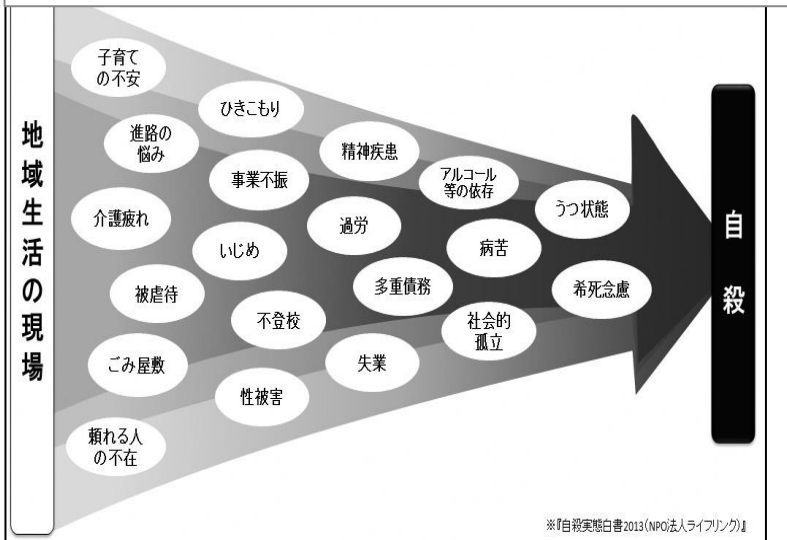
### ■5年間の自殺者の状況

- 本町では平成24年～28年の5年間で10人の方が自ら命を絶っています。
- 性別では男性5名、女性5名です。
- 5年間の合計の年代別死亡率で北海道のデータと比較すると下記の年代が多くなっています。
  - ・男性は40代と80代以上の方
  - ・女性は20～30代と80代以上の方



### ■自殺に至る背景

- 右記の図のように地域生活の現場で起きる問題は複雑化・複合化しており、さまざまな問題が深刻化したり、重なった時に自殺につながりやすいと言われています。
- 本町では失業・生活苦・人間関係・介護等による疲れなどさまざまな問題が重なり、その結果、うつ状態など健康問題へとつながり自殺に至る方が多いという分析結果になっています。



データ分析は、国が示す「地域自殺実態プロフィール2017」(自殺総合対策推進センターにおいて地域の自殺の実態を分析したもの)から引用しています。

# これからの主な取り組み

町民一人ひとりがお互いに支え合いながら、心身共に健康な生活を送る事を目指し、下記の施策に取り組んでいきます。基本施策は地域で対策を推進する上で実施することが望ましいとされている基盤的な取り組み、また重点施策は現状の分析の結果、課題となった問題への対策です。(主な取り組みについて抜粋しています)

●計画の数値目標  
年間自殺者数 ゼロを目指す

●計画の期間  
令和元年度～令和5年度までの5年間

## 基本理念

こころ元気に 笑顔でつながり 支え合う町  
～誰も自殺に追い込まれることのない地域を目指して～  
「変化に気づく」「耳を傾ける」「支援先につなげる」「温かく見守る」

## 基本施策

### ■情報の啓発・普及

- 相談窓口や自殺予防に関する情報提供
- 自殺予防月間や強化月間での取り組み
- 自殺予防知識の普及

### ■生きることを支える人材の育成

- ゲートキーパー(命の門番)研修の開催
- 関係人材の発掘・育成
- 相談支援体制の充実

### ■生きることを支える促進要因への支援

- 健康・子育て・介護・生活困窮など、不安を抱える要因を減らす支援
- こころの健康に対する不安・悩みへの支援
- 障がいやひきこもりの支援
- 高齢者の生きがいや社会参加活動の推進
- 子どもの権利や成長を支援する活動の推進

### ■地域における支援ネットワークの整備

- 個別支援のための連携会議の開催
- 関係機関の調整連絡会議の開催
- 地域で生活支援が必要なかたの早期発見対応

### ■生きるを支える支援事業

現在実施している役場各課の事業の中で、自殺対策につながる事業を関連施策として位置づけ、連携しながら取り組んでいきます。

## 重点施策

### ■若者(児童)への対策

- 若者が集まる機会での相談窓口や自殺予防に関する情報提供
- 児童へのこころの健康や命の大切さに関する教育

### ■高齢者への対策

- 高齢者が集まる機会での相談窓口や自殺予防に関する情報提供
- 介護知識普及事業
- 介護家族に対する支援

### ■生活困窮者・無職・失業者への対策

- 無料法律相談・総合的な相談窓口の紹介
- 就労に関する支援
  - ・障がい者への就労支援
  - ・生活の健全化を図る相談の実施

### ■勤務・経営問題への対策

- 事業所等でのこころ健康講座の実施
- 企業への融資等の経済的支援の実施

本計画は町のホームページに掲載、また、なごみ・屈足支所・図書館で閲覧することができます。  
【発行 新得町保健福祉センターなごみ内 保健福祉課健康推進係 TEL 64-0533 FAX 64-0534】